

GT5000を使用した温室効果ガス研究

フィンランドで実施された研究で、大気の炭素回収効果が高いとされる「てん菜」と「冬小麦」を用いて、炭素回収を測定できるか確認しました。また、CO₂だけでなく、メタン、アンモニア、亜酸化窒素など、土壌から放出されるガスも調査しました。調査には下記理由からGT5000が選ばれました。

- ・**9.4Kgという軽量で持ち運び可能、防滴で現場作業に最適**
 - ・**現場での操作が非常に簡単**
 - ・**圃場のチャンバーと分析装置は空気を循環でき、各ガス濃度を測定可能**
-
- 測定データにより、てん菜と冬小麦が大気から二酸化炭素を回収する効果が高い事が測定できました。
 - 植物が無い箇所では、少量の二酸化炭素が土壌から放出されており、その結果は日々変化し、気温と関係があった事が判明しました。

